

令和2年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	地域で進める竹林整備及び竹の利活用推進事業
事業主体 (連絡先)	喬木村
事業区分	(5)環境保全、景観形成に関する事業
事業タイプ	ソフト・ハード
総事業費	3,184,678 円 (うち支援金:2,124,000円)

事業内容

村で貸出用の木材破砕機を購入し、操作講習会及び竹林整備講習会への参加を呼びかけ、木材破砕機の安全な操作方法及び竹林の効率的な整備方法を身に付けてもらい、地域の協働による竹林整備及び利活用の推進を図った。
破砕機で破砕した竹チップの有効活用について、検討を進めた。



【木材破砕機操作講習会の様子】

【目標・ねらい】

事業効果

- ①下伊那北部総合事務組合所有の木材破砕機が廃止となったため、村で購入し地域への貸出体制を確立した。
- ②地域の団体を貸出対象とし、住民協働による竹林整備の作業効率を図ることができた。
- ③伐採した竹を破砕機で処理することにより、整備後の竹林内への出入りが容易となり、竹林の維持や有効活用に繋がった。
- ④村の情報誌、ケーブルテレビ放送等において、地域住民への周知を図ることにより、木材破砕機が広く認知された。

- ①木材破砕機の取得及び操作講習会の開催
- ②地域の協働による竹林整備の推進
- ③竹林の維持及び有効活用
- ④地域住民への周知

※自己評価【 B 】

【理由】
地域の環境保全と協働の推進を図ることができた。

今後の取り組み

地域における環境保全と協働の推進が図られたため、今後一層の竹林整備及び利活用を図りたい。
また、脱炭素社会やゼロカーボン社会に向けた取り組みが盛んになりつつあるため、木材破砕機で作られた竹チップの有効活用についても研究を進めていきたい。